

各 位

2020年3月13日

株式会社フソウ

SBIホールディングス株式会社

SBIインベストメント株式会社

株式会社フソウとSBIインベストメント株式会社による コーポレートベンチャーキャピタルファンドの共同設立に関するお知らせ

株式会社フソウ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：野村 充伸、以下「フソウ」）とSBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾 吉孝）の100%子会社であるSBIインベストメント株式会社（本社：東京都港区、代表取締役執行役員社長：川島 克哉、以下「SBIインベストメント」）は、フソウの既存事業分野および新規事業分野において事業シナジーが見込まれる国内外の有望なベンチャー企業を主な投資対象とするCVC（コーポレートベンチャーキャピタル）ファンド「FUSO-SBI Innovation Fund」を共同で設立いたしましたのでお知らせいたします。

フソウは1946年に香川県丸亀市で創業し、上下水道施設の設計から施工、維持管理、運転管理までを一貫して提供する「水の総合企業」です。この総合力を活かし全国各地に最適なソリューションを提供してまいりました。また、2016年にはフソウテクノセンターを設立し技術革新を担う拠点として業務を開始いたしました。

一方、人口減少やインフラ老朽化、テクノロジーの進化などによる事業環境の変化はますます加速しており、今回、CVCファンドの共同設立により、SBIインベストメントが有する多様なソーシング機能と豊富な投資経験を活用し、事業シナジーが見込まれるベンチャー企業への投資を通じて、既存事業の強化と新規事業の創出に取り組んでまいります。

尚、投資対象は国内外の優れた技術を有するベンチャー企業を対象としており、フソウとベンチャー企業が保有する技術を組み合わせることで、全国各地に安全で安心なフソウならではのソリューションを提供し、「持続可能な地域社会の実現」に貢献してまいります。

SBIインベストメントはSBIグループのアセットマネジメント事業における中核的企業であり、「新産業クリエーター」として、AI、ブロックチェーン、フィンテック、IT、バイオ・ヘルスケア、環境エネルギー分野等の次世代の成長分野のベンチャー企業に投資を行っています。

昨今は事業会社がCVCファンドを立ち上げ、事業シナジーが期待できるベンチャー企業への投資を通じて、新事業の育成を図る動きが活発化しており、ベンチャーキャピタルに求められる役割も多様化してきております。SBIインベストメントはこれまでに培ったベンチャー企業育成の知見を活かし、事業会社とベンチャー企業の連携を通じたイノベーション創出を支援するとともに、今後も21世紀の中核的産業の創造及び育成を推進してまいります。

【ご参考：新ファンドの概要】

ファンド名	FUSO-SBI Innovation Fund
設立日	2020年3月13日
運営会社	SBI インベストメント株式会社
投資対象	フソウの既存事業分野と新規事業分野において事業シナジー効果が見込まれる国内外の主にベンチャー企業
ファンド規模	50億円

【ご参考：フソウの概要】

名称	株式会社フソウ
所在地	東京都中央区日本橋室町2丁目3番1号
代表取締役	野村 充伸
設立年月日	1946年8月14日
資本金	30億円
従業員数	650名
事業内容	上下水道施設の設計・施工・維持管理・運転管理 水道用資機材の製造・販売

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先：

株式会社フソウ コーポレート本部 03-6880-2103

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126